

生物資源学部創造農学科の定員変更等について（令和7年度～）

・デジタル化の進展や脱炭素の世界的な潮流を背景に、県内においても、成長分野を担うデジタル・グリーン分野の理系人材が求められている。

・国（文部科学省）は、デジタル・グリーン分野の理系人材の拡大を目的に基金を創設し、当該分野の定員増を行う大学・学部に対し助成を行っている。[大学・高専機能強化支援事業]

・今回、生物資源学部の創造農学科の入学定員を5名増員し、国基金の助成事業を活用することにより、環境・食・健康・情報などに関するカリキュラムを充実するとともに、教育・研究環境の改善を図りたい。

・また、近年、生物資源学部の卒業生の半数以上は県内企業（特に環境・食品・化学・情報分野）や自治体へ就職しているが、定員増により、さらに多くの理系人材の県内定着を図りたい。

学科名	創造農学科
目指す姿	食料、農林水産業における、生産、加工・流通、消費までの各段階について、地域資源の最大活用、脱炭素化、労力軽減・生産性向上等のイノベーションを目指した社会実装型の研究・教育を推進し、実践力の高い人材を育成する。 ・地域農業における資源循環システムの構築 ・6次産業化、スマート農業導入による農業所得の向上 ・福井県の気候風土にあった米、小麦、果樹、花卉の開発・普及 ・地域の農家・企業・自治体とのネットワークを活かした新産業の創出
カリキュラム	○実習系科目を充実 ・食農環境実習、食農環境・文化概論・農産物利用学等
入学定員	25名→30名（+5名）
施設等の整備 (国基金事業等)	○実習や共同研究（輸入農産物の県産化のための研究等）のための施設を整備